

0、平成 28 年度の学校教育自己診断集計について

	1 年	2 年	3 年	保護者	教職員
回答数（人）	239	271	268	637	48

- * 項目によって、回答数は若干の差異があります。
- * 表中の数字は「よくあてはまる」・「ややあてはまる」の肯定評価 2 項目の合計（%）です。

概況として、生徒の肯定的な回答率が上昇しているが、他方で保護者の肯定的な回答率は微減している。

1、槻の木高校について（生徒・保護者）

番号	診 断 内 容	生徒計	1 年	2 年	3 年	保護者
7	槻の木高校には、他の学校にない特色がある。	93	94	94	94	92

2、学校生活全般について（生徒・保護者）

番号	診 断 内 容	生徒計	1 年	2 年	3 年	保護者
1	充実した学校生活を過ごしている。	88	88	88	87	92
2	自分のクラスには充実した学校生活を支えてくれる雰囲気がある。	86	86	83	89	83
3	槻の木高校に入学して良かったと思っている。	76	76	69	84	89
4	高校生活に自分なりの目標を持っている。	77	78	72	81	80
6	学校内に親しい友達がいる。	96	94	96	98	95

上記の 5 項目について、75%以上の生徒が肯定的にとらえており、全体的に数値は上昇している。保護者に関しては前年とほぼ同水準である。

3、学習活動について（生徒・保護者）

番号	診 断 内 容	生徒計	1 年	2 年	3 年	保護者
8	授業は全体としてわかりやすい。	86	90	81	87	71
9	授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある。	72	85	68	65	88
10	授業の難易度は適切である。	86	85	84	90	84
11	槻の木高校のカリキュラムは自分の適性や進路に応じた科目選択ができる。	88	91	87	88	91
12	授業内容は学習意欲の向上に役立っていると思う。	76	78	71	79	67
13	評価の仕方や基準について事前に説明されている。	92	93	87	94	91
14	学習の評価については、納得できる。	92	92	90	95	91
27	先生は、学習で自分が努力したことを認めてくれる。	87	89	81	91	82

上記の 8 項目に関して、微増ではあるが生徒については数値が上昇している。一方で、全体的に 2 年生(13 期生)に関しては、昨年の 2 年生(12 期生)よりも数値が低くでている。保護者に関してはすべての項目で同じか、あるいは微減という形になっている。

4、進路指導について（生徒・保護者）

番号	診断内容	生徒計	1年	2年	3年	保護者
5	高校卒業後の進路の希望を具体的に考えている。	73	59	72	87	75
31	将来の進路や生き方について考える機会がある。	92	93	93	92	90
41	自習室をよく利用している。	30	13	23	53	79
42	進路実現のための講習が充実している。	81	77	76	88	91
43	週末課題・週間課題は家庭学習の定着に役立っている。	71	77	70	67	86
44	自宅で学習する習慣ができています。	65	66	61	71	70
45	土曜（金曜）講習は学力向上に役立つと思う。	70	72	66	73	81
46	一日勉強会は学力向上に役立つと思う。	67	70	64	67	79
47	夏期講習や冬期講習は学力向上に役立つと思う。	82	80	77	87	90

「自習室をよく利用している」については、昨年と同様に30%という低水準にとどまっている。一方で、講習に関する項目(45, 47)については、昨年度よりもそれぞれ8%ずつ生徒回答では上昇している。

5、生活指導について（生徒・保護者）

番号	診断内容	生徒計	1年	2年	3年	保護者
17	槻の木高校は、生活規律や学習規律などの基本的習慣の確立に力を入れている。	96	96	95	97	97
18	規律を守った高校生活を送っている。	95	95	95	90	98
19	学校生活についての先生の指導は納得できる。	68	77	58	71	87
25	先生は、協力して生徒指導に当たっている。	86	90	81	78	93
26	先生は学校の決まりや約束ごとを守っている。	83	88	76	86	82
28	先生は、責任をもって、授業やその他の仕事に当たっている。	91	92	87	93	88

生徒指導に関しては昨年以上の評価を得ている。特に、保護者に関していえば、他の項目は全般的に昨年度よりも肯定的に捉えている保護者が減っているにも関わらず生徒指導に関しては昨年よりも高い割合が出ている。

6、教育相談・保健・生徒対応について（生徒・保護者）

番号	診断内容	生徒計	1年	2年	3年	保護者
15	授業でわからないことについて、先生に質問しやすい。	77	77	73	82	72
16	わからないことを質問したら、丁寧に教えてもらえる。	94	94	93	94	84
20	先生は生徒の意見を聞いてくれる。	72	78	63	76	79
22	悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い。	76	75	70	85	84
23	担任の先生以外にも保健室や相談室等で、気軽に相談することができる先生がいる。	70	64	66	79	75
24	先生はいじめなど私たちが困っていることについて真剣に対応してくれる。	80	79	75	86	91
29	先生は他の人に知られたくない秘密を守ってくれる。	89	92	88	88	79
33	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。	85	90	75	89	93

生徒からの肯定的回答の割合が上がっているが、特に顕著に上昇しているのが「担任の先生以外にも保健室や相談室等で、気軽に相談することができる先生がいる。」という項目で、昨年度は49%の生徒が「よくあてはまる」・「ややあてはまる」と回答していた。

7、行事・部活動について（生徒・保護者）

番号	診断内容	生徒計	1年	2年	3年	保護者
37	体育大会の内容は充実している。	52	56	42	57	71
38	文化祭の内容は充実している。	46	44	41	52	65
39	修学旅行の内容は充実している。（2・3年のみ）	82		85	79	87
40	HR活動や行事にはクラス全体で取り組んでいる。	85	81	85	89	86
48	部活動に参加している。	71	85	78	48	89
49	学習と部活動を両立している。（部活動参加者のみ回答）	78	80	73	81	81

「体育大会」・「文化祭」については、生徒の評価が低いですが、前年より改善の傾向が見られる。

8、学校からの情報公開・発信などについて（生徒・保護者）

番号	診断内容	生徒計	1年	2年	3年	保護者
21	学校からの配布物は保護者に必ず渡している。	81	85	77	80	78
30	成績などの内容についてプライバシーが守られている。	90	90	90	91	95
32	学校は、進路についての情報を知らせてくれる。	92	95	91	90	87
50	学校説明会は槻の木高校選択の参考になった。（参加の場合のみ解答）	75	80	71	75	92
51	学校のホームページをよく見る。	18	19	15	18	53

全体的に去年よりもわずかに上昇傾向にある。ホームページに関しては前年よりも更新回数は増えているが、閲覧してもらえるよう、更なる工夫が求められる。

9、施設・環境面について（生徒・保護者）

番号	診断内容	生徒計	1年	2年	3年	保護者
35	学校には授業や学習に適した環境・施設が整っている。	74	76	79	69	61
36	学校の施設や設備、学校で使う道具や器具が壊れたときはすぐに修理したり、取り替えたりしてくれる。	58	59	62	53	87

10、緊急時対応等について（生徒・保護者）

番号	診断内容	生徒計	1年	2年	3年	保護者
34	学校で、事件・地震や火災などが起こった場合、どう行動したらよいか、知らされている。	87	85	86	90	91

11、学校経営（教職員）

番号	診断内容	教職員
1	学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。	86
2	各年度の教育計画の作成に当たって、教職員で話し合っている。	69
3	この学校の教育活動には、他の学校にない特色がある。	94
4	教育課程の編成に当たって、学習指導要領の趣旨が生かされている。	90
5	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	77
47	中期的（3か年）な目標を踏まえ課題を明確にした「学校経営計画」を策定し、PDCAサイクルによる学校経営を推進している。	85
48	校長は自らの教育理念や学校運営についての考え方を明らかにしている。	85
49	学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている。	75
50	学校運営に教職員の意見が反映されている。	43
51	教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある。	43
52	各分掌や各学年間の連携が円滑に行われ、有機的に機能している。	63
53	職員会議をはじめ各種会議が、教職員間の意思疎通や意見交換の場として有効に機能している。	36
54	会議の内容が教育活動や学校運営に生かされている。	77
55	教職員間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。	76
56	日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談し合えるような職場の人間関係ができています。	73
57	この職場においては、教職員の服務規律への自覚が高い。	94
58	事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう、役割分担が明確化されている。	89
59	学校予算は一定のルールに基づき、適切に編成・執行されている。	71
67	校内研修組織が確立し、計画的に研修が実施されている。	98
68	校内研修は、教育実践に役立つような内容となっている。	81
69	初任者等、経験の少ない教職員を学校全体で育成する体制がとれている。	83
70	学校内で他の教員の授業を見学する機会がある。	98
71	教員の間で、授業方法等について検討する機会を積極的に持っている。	87
72	この学校では、府教育センター等が主催する研修に計画的に参加する体制が整っている。	71
73	研修・研究に参加した成果を、他の教職員に伝える機会が設けられている。	70
76	指導要録の記入、点検が年度内に適正に行われている。	98

12、学習指導（教職員）

番号	診断内容	教職員
7	学校は、教育活動全般について、生徒や保護者の願いに応えている。	94
8	年間の学習指導計画について、各教科で話し合っている。	88
9	各教科において、教材の精選・工夫を行っている。	92
10	この学校では少人数指導を取り入れるなど、指導方法の工夫・改善に努めている。	92
11	指導内容について、他の教科の担当者と話し合う機会がある。	58
12	この学校では、創意工夫を生かした総合的な学習の時間を実施している。	83
13	思考力を重視した問題解決的な学習指導を行っている。	59

14	生徒の実態をふまえ、参加体験型の学習を行うなど、指導方法の工夫・改善を行っている。	77
15	グループ学習を行うなど、学習形態の工夫・改善を行っている。	81
16	この学校では、到達度の低い生徒に対する学習指導について、全校的課題として取り組んでいる。	65
17	生徒の学習意欲に応じて、学習指導の方法や内容について工夫している。	87
18	評価の在り方について話し合う機会がある。	73
33	学校として、読書指導に積極的に取り組んでいる。	67
34	この学校は、情報リテラシーや情報モラルを高める教育に取り組んでいる。	75

13、生活指導（教職員）

番号	診断内容	教職員
20	生徒による問題行動が起こった時、組織的に対応できる体制が整っている。	83
21	様々な問題行動の防止のための早期指導に学校全体で取り組んでいる。	86
22	教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。	81
23	この学校では、生徒指導において、家庭との連携ができています。	85
24	生徒指導において、警察・少年サポートセンター・子ども家庭センター等の関係諸機関との連携ができています。	68
25	校則が、生徒の実態や人権尊重の立場から適切であるかについて、生徒や教職員の間で話し合う機会がある。	41
35	教育活動において、生徒に社会規範や市民道徳を守る意識が育まれる機会をつくるよう配慮している。	93
36	教育活動において、生徒が命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会をつくるよう配慮している。	75

14、進路指導（教職員）

番号	診断内容	教職員
26	この学校では、生徒が望ましい勤労観、職業観を持つことができるよう、系統的なキャリア教育を行っている。	57
27	生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。	84
28	この学校は、奨学金教育教材等を活用して奨学金制度等について指導している。	75

15、生徒相談（教職員）

番号	診断内容	教職員
6	教職員は生徒の意見をよく聞いている。	77
19	この学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。	66

16、行事・部活動（教職員）

番号	診断内容	教職員
29	ホームルーム活動を主とした学級経営の改善に、学級や学年、学校全体で取り組んでいる。	79
30	学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	76
31	生徒会活動を通じて、生徒が民主的な手続きを経て、主体的に活動できるよう学校全体で支援している。	65
32	学校として、部活動の活性化について工夫している。	79
37	教育活動において、奉仕等の体験学習やボランティア活動が活発に行われている。	83

17、情報発信（教職員）

番号	診断内容	教職員
74	公文書の收受、発送、保管に対する管理がなされている。	93
75	学校から保護者あてに公文書を発行するに当たって、校長が決裁するシステムが生かされている。	95
77	個人情報保護の観点から、生徒の個人情報に関する管理システムが確立されている。	96
78	教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。	93
79	情報提供の手段として、学校のホームページが活用されている。	98
80	保護者や地域の人々と接する機会を設けている。	87
81	教職員はPTA活動に参加している。	80
82	近隣の学校などとの校種間連携の機会を設け、教育活動全般に生かしている。	75

18、施設・環境・周辺整備等（教職員）

番号	診断内容	教職員
60	この学校では、生徒の生活の場として、ゆとりと潤いのある教育環境が整備されている。	56
61	この学校では、清掃がいきとどいている。	81
62	施設・設備の拡充は、長期的見通しに立って計画されている。	35
63	施設・設備について日常的に点検や管理が行われている。	81
64	各教科の備品や教材教具が活用されている。	85
65	この学校では、図書館が生徒に活用されている。	77
66	コンピュータ等のICT機器が、授業などで活用されている。	88

19、人権教育等（教職員）

番号	診断内容	教職員
38	人権尊重に関する様々な課題や指導方法について、全教職員で話し合っている。	66
39	人権尊重の教育において、参加体験型の学習内容・方法を取り入れるなど感性を高める指導を行っている。	49
40	同和問題を正しく理解し、差別や偏見のない社会をめざす主体的な生き方につながる学習となるよう工夫している。	64
41	在日外国人に対する偏見や差別のない社会をめざして、主体的な生き方につながる学習となるよう工夫している。	51
42	学校として、在籍している外国から来た生徒に対し、教育委員会事業や学校独自の取組み等で支援する体制がある。	46
43	障がい者理解を深め、ノーマライゼーションの理念に基づく社会を築く資質を養うことができるよう工夫している。	73
44	固定的な性別役割分担意識を是正し、男女共生意識に基づく社会を築く資質を養うことができるよう工夫している。	62
45	環境・国際理解・福祉ボランティアなど現代的な教育課題を教育活動に積極的に取り入れている。	77
46	体罰やセクシュアル・ハラスメントの防止をはじめ、人権尊重の姿勢にもとづいた生徒指導が行われている。	75
83	支援学校との交流の機会を設けている。	100